

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

| | |
|-----------------|--|
| 製品名 | スラゴ |
| 会社名 | W.Neudorff GmbH KG (ノイドルフ社) |
| 住所 | An der Muehle 3D-31860 Emmerthal Germany (ドイツ) |
| 担当部門 | 日本国内管理人(有) Joy Consulting |
| 担当部門住所 | 〒133-0052 東京都江戸川区東小岩4-1-16 |
| 担当者 | 高村 斉治 |
| 電話番号 | 03-3650-7593 |
| FAX番号 | 03-6862-8518 |
| 緊急連絡電話番号(休日・夜間) | 080-7002-8828 |
| E-mail | Seiji-takamura@joy-consulting.com |

2. 危険有害性の要約

GHS分類区分 分類基準に該当しない

注意書き

保管

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
(P403+P233)

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

| 化学名又は一般名 | 濃度又は濃度範囲 | 官報公示番号 | | CAS番号 |
|-----------|----------|---------|-----|------------|
| | | 化審法 | 安衛法 | |
| リン酸第二鉄水和物 | 0.98 % | (1)-358 | | 10045-86-0 |
| 穀物粉等 | 99.02 % | 化審法対象外 | | |

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

この物質と接触した身体部位を多量の水及び石鹼で洗い流す。

眼に入った場合

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
清浄な水で最低15分間眼を洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が良くいきわたるように洗浄する。

飲み込んだ場合

水でよく口の中を洗浄する。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

医師に対する特別注意事項

5. 火災時の措置

| | |
|-----------|--------------------------------------|
| 消火剤 | 水噴霧、ドライケミカル、二酸化炭素、化学泡 |
| 特有の危険有害性 | 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。 |
| 特有の消火方法 | 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 |
| 消火を行う者の保護 | 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、保護衣等を着用し、風上より消火を行う。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|----------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 | 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 |
| 環境に対する注意事項 | 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 |
| 回収、中和、封じ込め及び浄化の方法・機材 | 除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。 物質を吸込み又は掃き取って廃棄用容器に入れること。 不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。 |
| 二次災害の防止策 | すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

| | | |
|-----|-----------|---|
| 取扱い | 技術的対策 | 『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 |
| | 局所排気・全体換気 | 局所排気、全体換気を行う。 |
| | 安全取扱い注意事項 | この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 |
| 保管 | 衛生対策 | 取扱い後はよく手を洗うこと。 |
| | 混触禁止物質 | 『10. 安定性及び反応性』を参照。 |
| | 保管条件 | 容器を密閉して換気の良い冷乾所で保管すること。 |

飼料、食物から離して保管する。

容器包装材料 情報なし

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。

保護具

呼吸器の保護具 適切な呼吸器保護具(自給式呼吸器等)を着用すること。

手の保護具 保護手袋(耐化学薬品手袋)を着用すること。

眼の保護具 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観 物理的状态 固体(顆粒)

色 淡緑色

臭い 無臭

pH 4.3-4.6

沸点、初留点及び沸騰範囲 情報なし

引火点 難燃性

燃焼又は爆発範囲の下限 データなし

燃焼又は爆発範囲の上限 データなし

比重(密度) 0.8g/cm³

溶解度 水に対する溶解性:不溶(磷酸第二鉄)

n-オクタノール/水分配係数 情報なし

自然発火温度 情報なし

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|-----------------------------|
| 反応性 | 情報なし |
| 化学的安定性 | 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。 |
| 危険有害反応可能性 | 情報なし |
| 避けるべき条件 | 情報なし |
| 混触危険物質 | 情報なし |
| 危険有害な分解生成物 | 一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物 |

11. 有害性情報

| | | | |
|--------------------|------------------------------|-----|------------|
| 急性毒性(経口) | LD50 | ラット | >5000mg/kg |
| 急性毒性(経皮) | LD50 | ラット | >5000mg/kg |
| 皮膚腐食性/刺激性 | ウサギに対して皮膚刺激なし(測定方法OECD404) | | |
| 眼に対する重篤な損傷/刺激性 | ウサギに対して弱い刺激性あり(測定方法:OECD405) | | |
| 呼吸器感作性 | 情報なし | | |
| 皮膚感作性 | 情報なし | | |
| 生殖細胞変異原性 | 情報なし | | |
| 発がん性 | 情報なし | | |
| 生殖毒性 | 情報なし | | |
| 特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露) | 情報なし | | |
| 特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露) | 情報なし | | |
| 吸引性呼吸器有害性 | 情報なし | | |

12. 環境影響情報

| | | | |
|-------|------|------|------------------------|
| 環境有害性 | 情報なし | | |
| 生態毒性 | LC50 | ニジマス | >100mg/l(96H) 磷酸第二鉄として |
| | EC50 | ミジンコ | >100mg/l(48H) 磷酸第二鉄として |
| | EC50 | 藻 | >100mg/l(72H) 磷酸第二鉄として |

13. 廃棄上の注意

| | |
|----------|--|
| 残余廃棄物 | 処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物業者にマニフェストを交付し、関係法令等を遵守して適性に処理する。処理等を外部の業者に委託する場合は、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を依頼する。 |
| 汚染容器及び包装 | 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 |

14. 輸送上の注意

| | | |
|------|------------------|----------------|
| 国際規制 | 海上規制情報 UN No. | 該当しない 該当しない |
| | 航空規制情報 UN No. | 該当しない 該当しない |
| 国内規制 | 陸上規制情報 | 該当しない |
| | 海上規制情報 UN No. | 該当しない 該当しない |
| | 航空規制情報 UN No. | 該当しない 該当しない |
| | | |

| | |
|---------|---|
| 特別の安全対策 | 容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒、落下・破損の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。 |
|---------|---|

15. 適用法令

| | |
|-------|---------|
| 農薬取締法 | 第21929号 |
|-------|---------|

16. その他の情報

| | |
|------|--|
| 連絡先 | 第1項に記載 |
| 参考文献 | W.Neudorff GmbH KG社MSDS(2012.3.27) 日本ケミカルデータベース株式会社 法規制データ(ezCRIC) 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)化学物質管理情報 ケムウォッチ社 ケムゴールド(化学品情報) |
| その他 | <記載内容の取扱>記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証もなすものではありません。又、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。 |